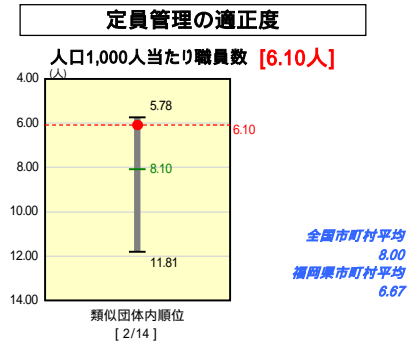
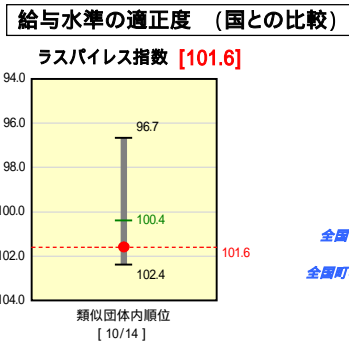
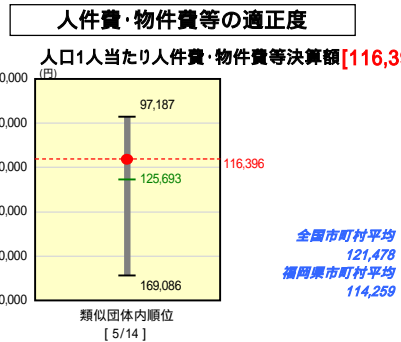
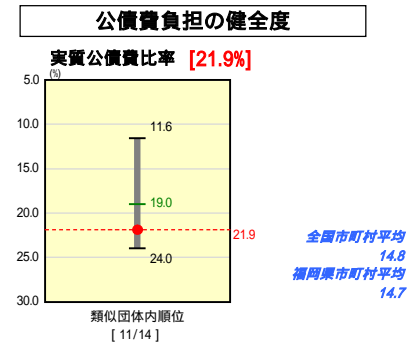
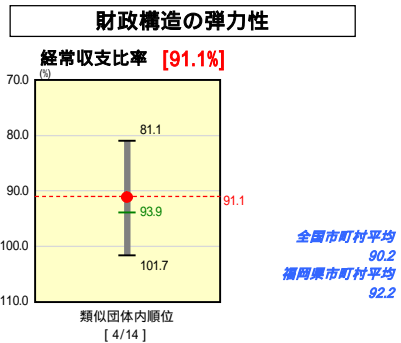
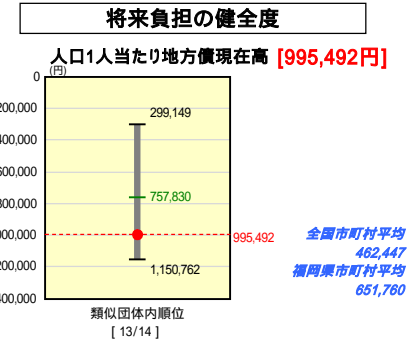
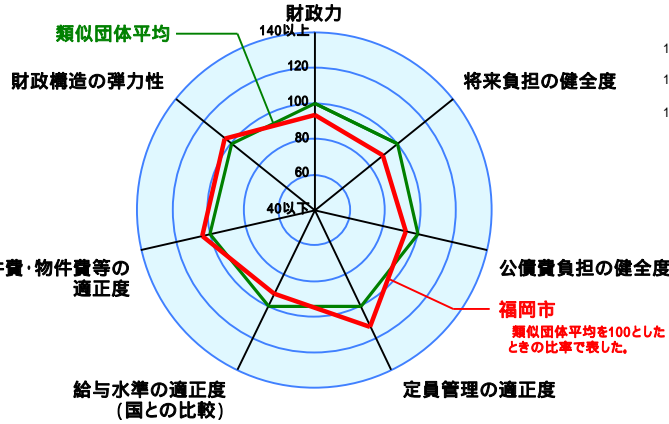
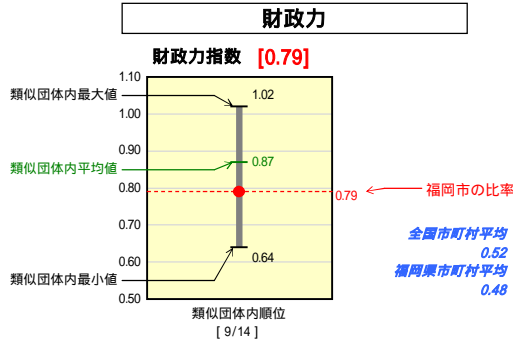


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福岡県 福岡市

人口	1,352,221	人(H18.3.31現在)
面積	340.60	km <sup>2</sup>
歳入総額	713,125,880	千円
歳出総額	703,900,807	千円
	3,991,134	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

#### 財政力指数

類似団体平均を下回っておりますが、平成14年度以降は改善傾向にあります。今後についても、市税収入率の向上等により歳入の確保に努めていきます。

#### 経常収支比率

経常収支比率は、類似団体(政令指定都市)14市の中で上位から4番目の水準にあります。平成16年6月に策定した「財政健全化プラン」に基づき、着実に経常経費の削減を行ってまいりましたが、今後、改めて策定を予定している「財政リニューアルプラン」を通して、引き続き経常経費の削減に努めていきます。

#### 人口1,000人当り人件費・物件費等決算額

人口1,000人当り職員数が少ないことなどから、類似団体(政令指定都市)14市の中で上位から5番目で、類似団体平均より低い水準となっております。今後とも、業務のアウトソーシングなど、効率的な業務執行による経常経費等の削減に努めていきます。

#### ラスパイレス指数

近年の初任給や昇給停止年齢の引下げ等の取組などにより、この5年間で3.1ポイント低下しています。職員給与については、今後とも、市内の民間給与との均衡が図られるよう措置するとともに、より一層市民の理解が得られるよう必要な見直しに努めていきます。

#### 人口1人当たり地方債現在高

市債残高は、バブル経済崩壊後、国の経済対策への対応として市債を活用し、生活基盤整備を進めたことなどによって急増しましたが、平成12年度決算以降はプライマリー・バランスを堅持するとともに、平成17年度以降は財政健全化目標を設定し、市債発行額を抑制しており、市債残高は減少に転じています。今後も事業の見直しなどにより市債発行額を抑制し、市債残高の縮減に努めていきます。

#### 実質公債費比率

バブル経済崩壊後、国の経済対策への対応として市債を活用し、生活基盤整備を進めたことなどによって公債費負担が増加しましたが、近年は市債発行の抑制により公債費の増加に歯止めがかかっています。今後についても、市債の発行抑制や繰上償還などの公債費負担適正化対策により実質公債費比率の改善に努めていきます。

#### 人口1,000人当り職員数

過去からの業務のアウトソーシングや直営施設職員数の抑制により、類似団体の平均を下回っており、定員の適正管理が図られていると考えております。今後も市民サービスの低下を招かないよう留意しながら効率的な業務執行体制の構築に努め、本市が目標として掲げる「平成22年度までに、平成17年度の定員と比較して、定員を4.6%削減」の達成を目指します。